

一般社団法人 日本金融教育支援機構

金融経済教育の担い手育成と
FESコンテストによる学生金融教育の取り組みについて



一般社団法人

日本金融教育支援機構

Japan Financial Education Support Organization

人生の選択肢を増やす金融教育を



講師養成事業

- 金融教育の普及を志す人材を受け入れ、講師の養成を行う。
- 定期的な学習会および登壇に向けた実践的な研修を実施する。
- 大学生運営委員による公的資格の取得を支援し、講師としての育成を図る。

FESコンテスト事業

- 大学生～中高生～小学生を対象に実施する金融教育動画制作コンテスト。
- 中高生が卒業後に大学生として運営メンバーに加えることで、継続的な学びの創出と担い手の循環を生む体制を作る。

資格検定事業(2026春～)

- 表現面が評価対象となるFESコンテストを補完する仕組みとして、金融知識に特化した実力評価を実施する。
- 習熟度に応じて評価する方法によって、中高生に継続的かつ知識を積み上げる学習への動機づけを提供する。



共同代表理事



平井 梨沙 (Risa Hirai)

証券会社での勤務経験を基に、金融教育の重要性を伝える活動に取り組む。実生活に根差した教育コンテンツ制作を得意とし、「自身が子どもの頃に受けたかった金融教育」を展開している。



阿部 奈々 (Nana Abe)

経営企画・広報担当として東証1部上場(IPO)を経験。スタートアップから大手まで金融・経済分野を中心に広報・発信を多数手がける。団体では対外的な発信やPR、営業活動を担っている。

理事



仲木 威雄 (Takeo Nakaki)

三菱信託銀行をはじめとした複数の金融・投資分野での実務経験をもつ。現在は株D&Iの執行役員として障害者雇用の課題解決に取り組み、誰もが挑戦できる社会を実現していくための活動に尽力している。



田内 学 (Manabu Tauchi)

東京大学大学院修了後、ゴールドマン・サックス証券でトレーディングに従事。日本銀行による金利指標改革にも携わる。著書や文部科学省検定の高校社会科教科書(公共)の共著を通じて、金融・経済の考え方を社会に広く伝えている。

監事



山岸 哲平 (Teppei Yamagishi)

弁護士。2009年司法試験合格。森本紘章法律事務所入所。第二東京弁護士会平成28年度常議員を務める。現在は、増田パートナーズ法律事務所に所属しシニアアソシエイトとして従事している。

(財)三菱みらい育成財団の助成事業への採択 (2023～2025年)グランプリ受賞(2024年)

当機構の「FESコンテスト ワークショッププログラム」は、2023年度、三菱みらい育成財団の「心のエンジンを駆動させるプログラム」(カテゴリーⅡ)助成に採択されました。

さらに特に優れた活動・成果を上げた団体として、2024年度にはカテゴリー2のグランプリにも選出されました。

Next Education Award 最優秀賞受賞(2024年)

OECDオフィシャルパートナーの活育財団が主催する「Next Education Award 2024」で最優秀賞を受賞しました。同財団主催フォーラムにも登壇し、当機構の取り組みを発表しました。

東京都こどもスマイルムーブメント大賞 優秀賞受賞(2025年)

「FESコンテスト」は、東京都主催「こどもスマイルムーブメント大賞 令和7年度 子供部門」で、**金融教育分野として初の優秀賞を受賞**しました。

世代を超えた学びの循環と、子どもの主体的な発信が高く評価されました。

APT WOMEN 第9期生に採択(2024年)

東京都の女性起業家支援プログラム「APT Women」第9期に、**唯一の社団法人として採択**。採択企業は資金調達や企業連携などで実績を上げています。

当機構は約60名の「認定講師」約40名の「教員アンバサダー」が登録しています。

教員アンバサダー



現場を意識した教育内容の
フィードバック

認定講師



フィードバック

学生

授業

✓ 実践経験を獲得
✓ さらなる活躍へ

資産形成の基礎だけでなく、経済の仕組みや社会貢献としての投資の意義を伝えます。

投資

進学・就職・結婚など、将来の夢を具体化し、それを支えるお金の設計図を描く力を養います。

ライフプラン

起業家教育

起業という選択肢とともに、会社をつくり社会で事業を続けるために必要なお金の考え方を学びます。

多彩な講師陣

お金を「稼ぐ・使う」の先にある、自分らしい幸せや心身の健康とのバランスを考えます。

ウェルビーイング

ファイナンス

家計管理から企業の財務まで、世の中のお金の流れを論理的に理解する視点を提供します。

消費者教育

契約の重要性やトラブル回避、エシカルな消費選択など、自立した消費者としての基礎を築きます。

FESコンテスト(Financial Education Support Contest for Student)

中高生が、アウトプットを目標にお金や経済社会について主体的に学び、理解を深めるコンテスト

目的 | 金融教育→予測困難な社会を生き抜く力を育成

中高生が、お金の8つの力(使う・稼ぐ・納める・貯める・備える・贈る・借りる・増やす)をテーマに、小学生にも伝わることばで、幅広い世代の学びとなる金融教育動画を制作し、大学生が運営をサポートする、「学生の、学生による、学生のためのコンテスト」です。動画制作を通して、情報の受け手を意識することの大切さも学びます。



教員アンバサダー



大学生

認定講師



自分が学ぶ
動画の作成

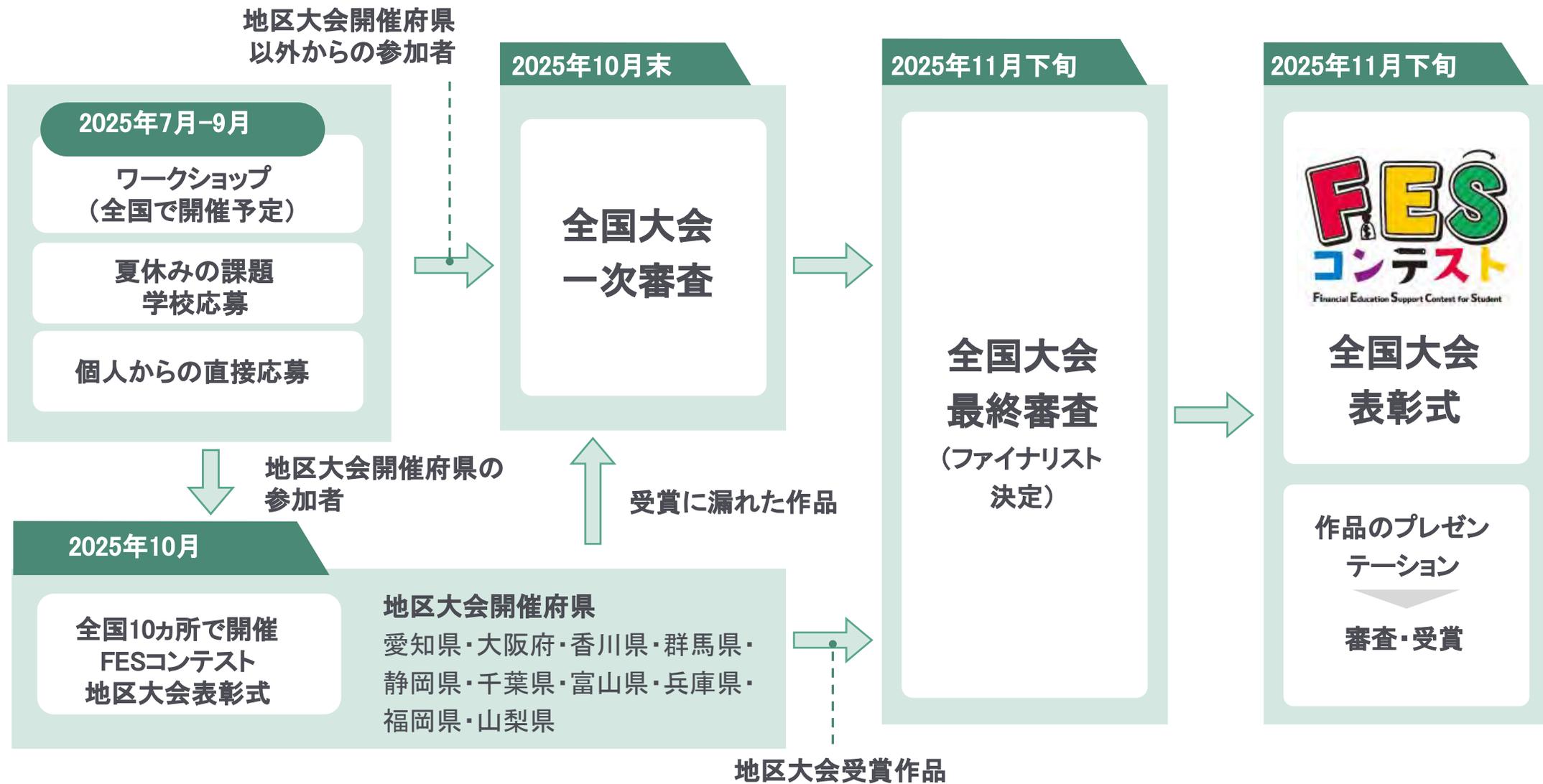
中学生



小学生



1分間の動画で
リテラシーを
身につける



ワークショップの流れ 大学生がサポートを行います

Step1

ウォーミングアップ



お金について思いつくことを付箋に書き、「お金の8つの力」に仕分けします。

Step2

グループワーク



「お金の8つ力」を軸に、日常生活で使うお金の様々な役割を学びます。

Step3

課題の設定



お金の意味や働きについて「お金の8つ力」から動画のテーマを選定!

Step4

企画案の作成



コンテンツに関する内容を、深掘り、調べ、教わりつつ、企画案を作成しよう!

Step5

動画の撮影・制作



伝えたいことを動画で表現しよう。動画の作り方はしっかり指導します。

Step6

コンテストへ応募



動画が完成したらFESコンテストへ即応募しよう!参加証明書がもらえます。



※全国大会の正式名称は第3会FESコンテスト Supported by ゆうちょ銀行

大会名	後援	冠表彰
全国大会 ※ (地区大会開催地以外含む)	文部科学省 金融庁 消費者庁 東京都	文部科学大臣賞 J-FLEC理事長賞 ゆうちょ銀行賞
愛知県地区大会	愛知県 愛知県教育委員会	知事賞 教育長賞
大阪府地区大会	大阪府 大阪府教育委員会	知事賞 教育長賞
香川県地区大会	香川県 香川県教育委員会	知事賞 教育長賞
群馬県地区大会	群馬県 群馬県教育委員会	—
静岡県地区大会	静岡県 静岡県教育委員会	教育長賞
千葉県地区大会	千葉県 千葉県教育委員会	知事賞 教育長賞
富山県地区大会	富山県 富山県教育委員会	—
兵庫県地区大会	神戸市	—
福岡県地区大会	福岡県 福岡県教育委員会	教育長賞
山梨県地区大会	山梨県 山梨県教育委員会	知事賞 教育長賞

プログラム
実績

第2回FESコンテスト

503作品

地区大会開催地 2カ所

ワークショップ 8回開催



第3回FESコンテスト

897作品

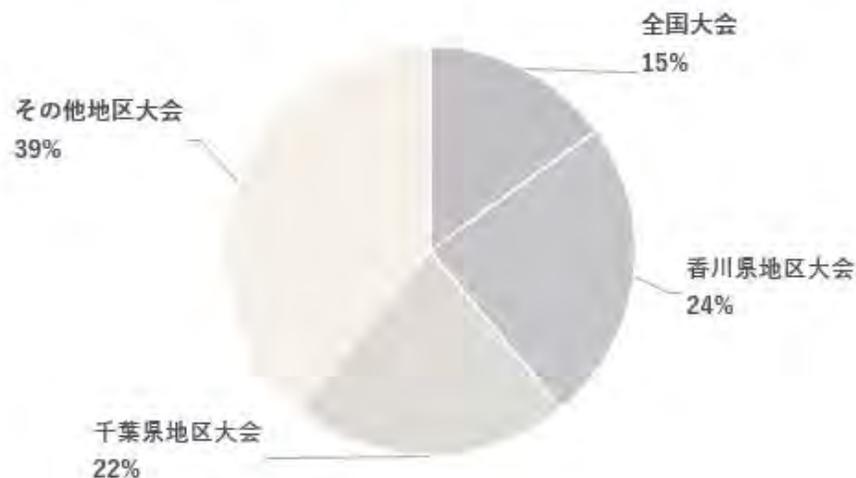
地区大会開催地 10カ所

ワークショップ 23回開催

応募作品数の推移



第3回FESコンテスト大会別応募数



地区大会開催県からの応募数は多く、第3回では765作品と全体の約85%を占めています。

2年連続で地区大会を開催した香川県・千葉県からは、合わせて418作品と特に応募が多く、地区大会の開催が応募を大きく後押ししていることが表れています。

地区大会開催地 (50音順)	ワークショップ 開催地	応募 作品数	参加人数	全国大会 進出数	参加 学校数	応募作品数 (国公立)	応募作品数 (私立)
全国大会 (地区大会開催地以外)	東京ほか	132	198	1	65	31	101
愛知県	—	21	32	—	4	4	17
大阪府	大阪市 枚方市	36	48	1	9	3	33
香川県	—	215	257	2	12	9	206
群馬県	伊勢崎市	28	45	—	10	23	5
静岡県	—	33	67	—	7	11	22
千葉県	木更津市	203	276	2	15	4	199
富山県	富山市	15	18	—	7	9	6
兵庫県	養父市 淡路市	77	192	1	6	7	70
福岡県	福岡市	114	175	3	28	51	63
山梨県	甲府市	23	41	—	11	17	6
合計	—	897	1,349	10	174	169	728

地区大会開催地を10カ所に拡大



10/13 香川県



10/13 富山県



10/13 福岡県



10/18 千葉県



10/19 静岡県



10/19 兵庫県



10/25 愛知県



10/26 山梨県



11/1 群馬県



11/2 大阪府

山梨県

県の新事業共創プラットフォーム「TRY!YAMANASHI!」事業支援プログラム、山梨Miraiプロジェクト(学生と協働)に採択されての開催
 ・県内全金融機関をパートナーに迎え、協働により開催
 ・FESコンテストでの活動を山梨県内の大学の単位に認定



キックオフミーティングにて

大阪府

当機構のプロジェクト「環境に関わらず、すべての子どもたちが金融教育を学べる社会に」が 2025年度 大阪府「NPO等活動支援によるSDGsの達成に向けた社会課題解決事業」に採択

児童養護施設や子ども食堂での金融教育にFESコンテストのワークショップ
 ・小学生審査の手法を活用し、子どもたちの金融教育への興味を引き出しています。

J-FLECの安藤理事長を来賓に迎え、ゆうちょ銀行を冠パートナーに表彰式を開催

ご来賓



安藤 聡 氏

金融経済教育推進機構
(J-FLEC)
理事長



2025年11月29日、東京都の日本科学未来館にて全国大会表彰式を開催。ファイナリストのプレゼンテーションとともに作品が発表され、**文部科学大臣賞、J-FLEC理事長賞、企業特別賞の「ゆうちょ銀行賞」をはじめとする賞が決定** されました。結果発表時には、**来賓の金融経済教育推進機構 (J-FLEC) 理事長 安藤聡氏から総評** をいただきました。

第3回FESコンテスト 全国大会 審査員の皆様



田内 学

(社)日本金融教育支援機構
理事
社会的金融教育家
お金の向こう研究所 代表



倉澤 慶子

株式会社ゆうちょ銀行
広報部長



清水 順子

学習院大学
経済学部 教授



島村 昌征

金融経済教育推進機構
(J-FLEC)
教育企画部長



山中 伸枝

株式会社
アセット・アドバンテージ
代表取締役



仲岡 由麗江

レオス・キャピタル
ワークス株式会社
営業本部 副本部長 兼
レオス営業部長



伊東 愛結

静岡大学
教育学部 1年
第2回FESコンテスト
審査員特別賞受賞者

■ 表彰式 開催概要

開催日:2025年11月29日(土)

開催場所:日本科学未来館 7階 未来館ホール(東京都江東区青海2丁目3番6号)

主催:一般社団法人日本金融教育支援機構

パートナー:株式会社ゆうちょ銀行 レオス・キャピタルワークス株式会社

株式会社ホテル三日月

後援:文部科学省 金融庁 消費者庁 東京都



受賞作品はこちらからご
覧いただけます



指標	視点	第3回実績	第2回実績	前回比
参加学校数	金融教育提供者数	174校	94校	+185%
応募作品数		897件	503件	+178%
参加生徒(中高生)数		1,349名	—	—
運営大学生数		120名	52名	+231%
小学生審査員参加数		186名	—	—
広域金融提供者数	金融教育提供者数	約3,500人	約2,300人	+152%
メディア掲載件数	プレゼンス向上	32件	12件	+267%
地区大会開催数	地域への浸透度	10件	2件	+500%
ワークショップ開催数	地域への浸透度	20件	8件	+250%

メディアへの掲載件数も増加しており、注目度が高まっています



★ 富山

中高生が金融教育動画制作 小谷さん (富山国際大付属高2年) が優秀賞

2025年10月14日 09時05分 (10月14日 11時07分更新)



百十四銀、金融教育イベントに協力 中高生がショート動画作り

2024.08.09 19:09





文部科学大臣賞

大阪府立長野高等学校 高校3年 竹田 陽響さん

最初の3秒で楽しそう！と思ってもらうことによって
動画を通してキャッシュレスの仕組みやお金の大切さを
最後までしっかり伝えることができるのではないか

学び

- ・キャッシュレスとは現金を使わなくてもお金が動く仕組み
- ・学校で学んだことを自分の言葉で伝えると理解が深まる

気付き

- ・金融は伝え方次第でもっと知りたくなる
- ・身近なテーマでも金融を考える入り口になる

工夫

- ・最初の3秒で「見たい」と思わせる語りかけ
- ・小学生の声で親しみやすく伝えた
- ・最後に「調べてみてね」と呼びかけ、次の学びにつなげた





J-FLEC理事長賞

大手前丸亀中学・高等学校 高校1年 中下 心結さん

学び

- ・買い物は企業や社会を支える行動
- ・消費と投資はつながっている

気づき

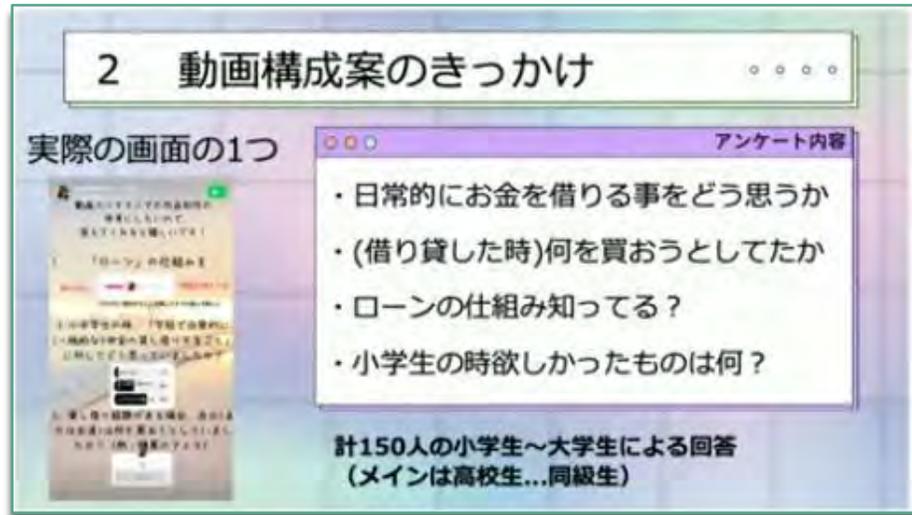
- ・身近な買い物も投資的な行動になり得る
- ・投資の考え方は始める前から身に着けられる

工夫

- ・小学生に身近な買い物をテーマに設定
- ・動画構成で「お金の循環」を表現

審査員特別賞

同志社香里中学校・高等学校 高校3年 廣瀬 稜さん



学び

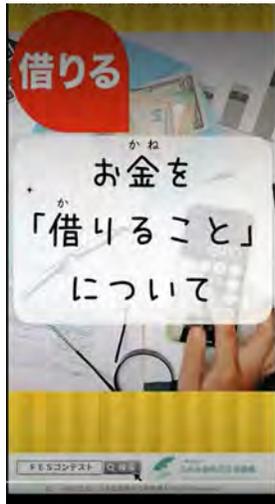
- ・ 大人になれば大きな金額が必要になる時があり、役立つのがローン
- ・ ローンには計画性が大切

気付き

- ・ お金の貸し借りはトラブルの元とは知っていてもローンを知らない学生が多い

工夫

- ・ 学生150人にアンケートを行い、動画テーマを見直した。
- ・ 車の値段をアイスに例えたり、ふりがなやイラストを使い、短時間でも理解しやすい構成にした



■受賞者の声



スマホだけで動画を作れるのがよかったです。調べて、まとめて、動画を作るうちに自然と詳しくなれました。次は違うテーマでチャレンジしたいです。

実際に動画を見た小学生から感想を言ってもらえたのがうれしかったです。大学生になったらFESコンテスト実行委員になりたいと思っています。

テーマを考えるうちに、社会の中でお金がどうやって使われているかが気になるようになりました。金融を身近に考える機会はあまりないので、よいきっかけになりました。

■大学生の声



金融に興味のある同じ大学生と知り合い、一緒に活動できて楽しかったです。

中高生と話そうちに、逆に教えてもらうこともあり、改めて金融の大切さに気づきました。

高校のときに応募して、今は運営スタッフ。ワークショップの講師にチャレンジしたことで、さらに学びが深まりました。

■学校の先生方の声

動画制作を通じて、生徒が「お金」を自分の言葉で考え、伝える力を身につけていると感じました。

スマホ1台あればできるので、地域や設備の差を気にせず取り組みました。

地区大会を初開催した2県にて知事を表敬訪問

香川県知事 池田豊人氏を表敬訪問

2024年12月12日、全国大会での最優秀賞、奨励賞、佳作をそれぞれ受賞した香川県の中高校生 5名と当機構の理事・監事が参加しました。



千葉県知事 熊谷俊人氏を表敬訪問

2025年4月21日、千葉県地区大会で知事賞、教育長賞を受賞した高校生4名と当機構の理事・大学生運営委員各1名が参加しました。知事賞受賞作品は、全国大会でも2つの賞を獲得しています。



受賞作品の活用

香川→全国



「小学生のぼくも税金を納めている!？」全国大会の最優秀賞を受賞。確定申告期間中の啓発活動教材として、高松国税局と丸亀税務署に活用されました。

受賞者が大学生運営委員会メンバーに

審査員や司会、ワークショップなど幅広く活躍

受賞者やワークショップ参加者が、大学生運営委員会のメンバーとして再び関わる循環が生まれ始めています。第3回では、第2回の受賞者が第3回表彰式の審査員として登壇したほか、地区大会の司会を務めるなど、運営面でも活躍しました。参加者が次の担い手へと自然につながる仕組みが機能し始めています。

ご清聴ありがとうございました

一般社団法人 日本金融教育支援機構



共同による金融経済教育の 取組みについて

2026年1月28日
金融経済教育推進会議

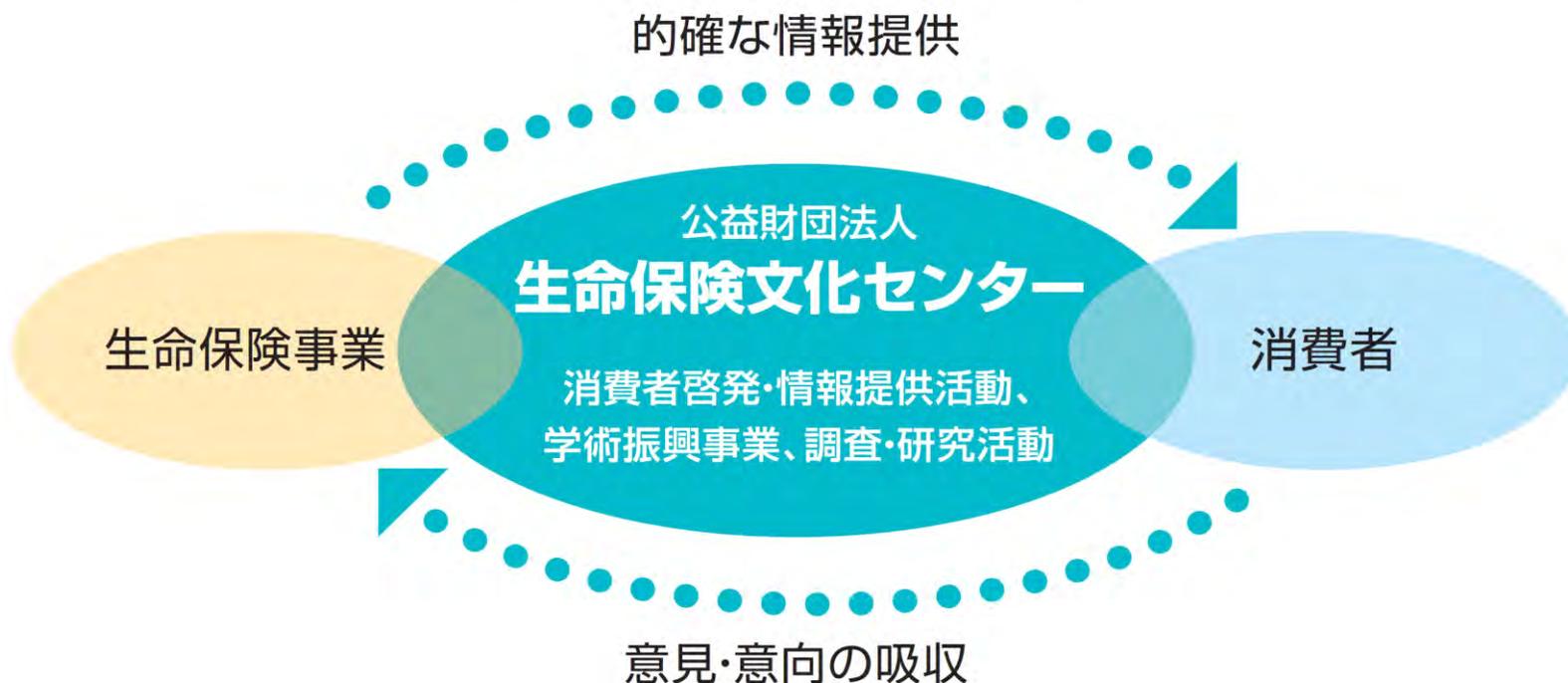
 公益財団法人 生命保険文化センター

一般社団法人 日本損害保険協会 
The General Insurance Association of Japan

活動目的

生命保険制度の健全な発展のための諸事業を通じて、国民生活の安定向上、国民の利益の増進に寄与する。

「消費者と生命保険業界の相互理解の促進」



「学校教育用副教材」の提供

中学生

①マンガ「生命保険って何だろう？」



②家庭科等向け 50分授業セット 「リスクに備える」



③社会科向け 50分授業セット 「人生100年時代に必要な備えとは？」



高校生

①ワーク&データ集「君とみらいとライフプラン」



累計発行部数 約100万部
(2017年度版から2025年度版初版までの実績)

②家庭科向け 50分授業セット - 「生活設計とリスクへの備え」 - 「事例から考えるリスクマネジメント」



③公民科向け 50分授業セット 「自助・共助・公助について考えよう」



中学生・高校生

中学生・高校生向け 50分授業セット 「成年になるということ」



参考スライド集



大学生等

①冊子 「生活設計とリスク管理」



②授業スライド 「生命保険の基礎知識」



③授業スライド 「医療保険と介護保険」



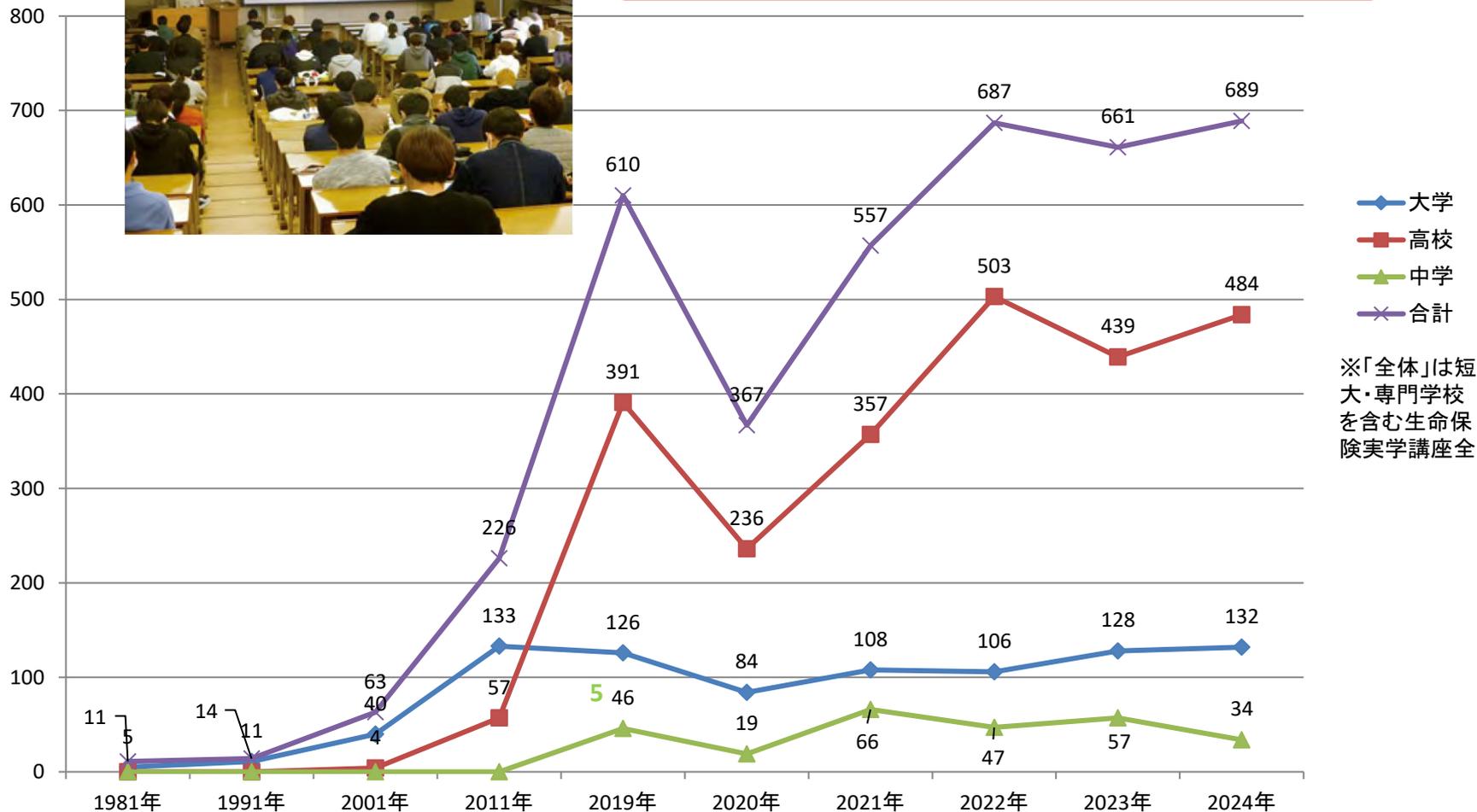
④授業スライド 「公的年金と個人年金」



学生・生徒向け「生命保険実学講座」



累計実施回数 約9千回・受講者数約52万名
(1981年度から2024年度までの延べ実績)



日本損害保険協会（略称：損保協会）とは

損保協会は、損害保険会社を会員とする事業者団体です。

損害保険は、皆さまの平穏な生活や安定した事業活動のお手伝いをするという社会的役割を担っています。

損保協会では、この社会的役割を着実に果たすために、消費者の皆さまとのコミュニケーションを推進し、皆さまからいただいたご意見に基づき業務品質の向上を図っています。また、身のまわりにあるリスクの軽減に向けて、防災・防犯対策、交通安全対策等にも力を入れて取り組んでいます。

目 的

わが国における損害保険業の健全な発展および信頼性の向上を図ることにより安心かつ安全な社会の形成に寄与することを目的としています。

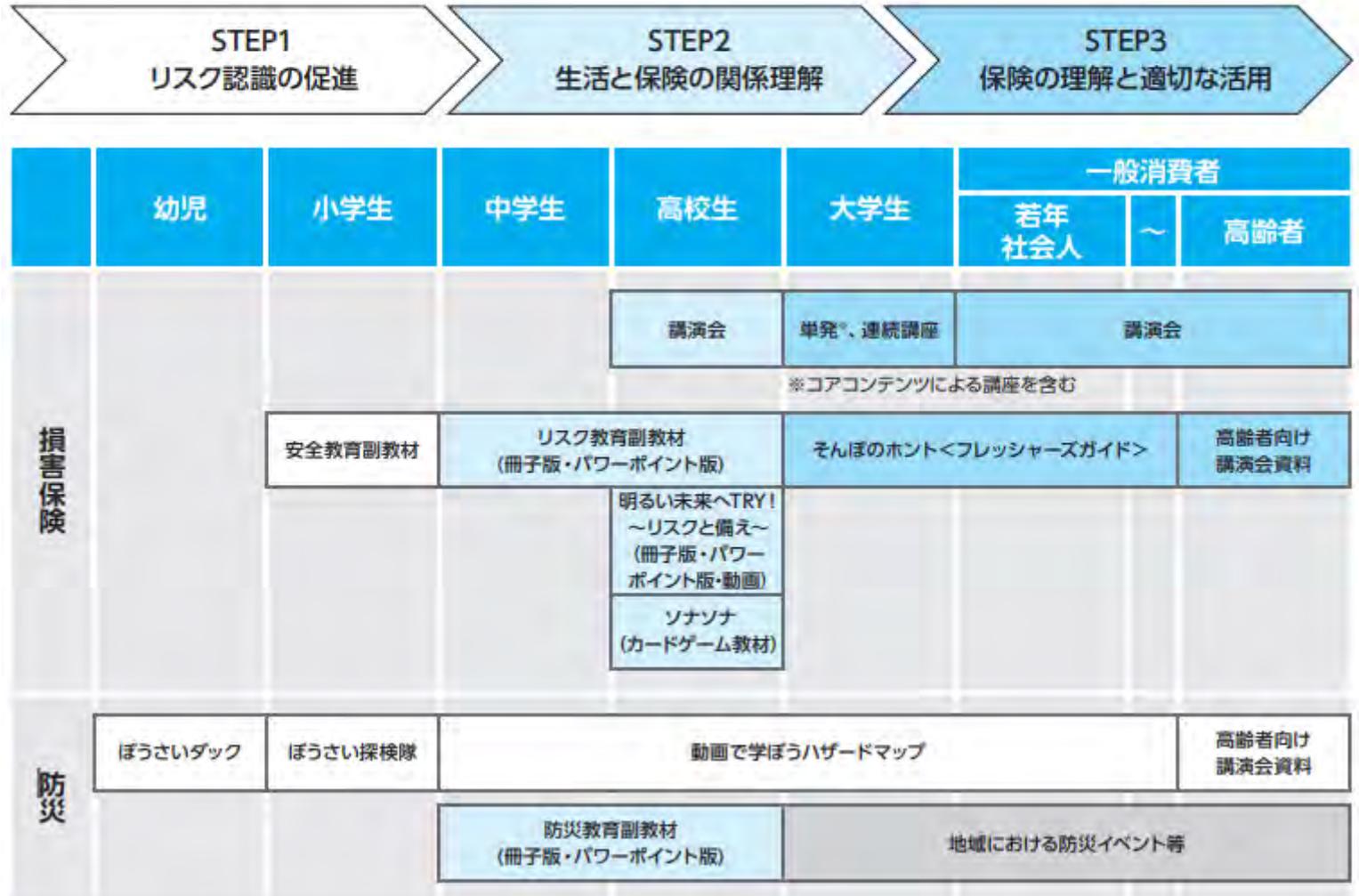


事業内容

1. 損害保険の普及啓発・理解促進に資する事業
2. 損害保険契約者等からの相談対応、苦情・紛争の解決に資する事業
3. 損害保険業の業務品質の向上に資する事業
4. 損害保険業の基盤整備に資する事業
5. 損害保険の安定かつ継続的な提供に資する事業
6. 事故、災害および犯罪の防止・軽減に資する事業
7. 損害保険業に関する研修、試験および認定等の事業
8. 前各号の事業に資する国の補助金等に関する事業
9. その他本協会の目的達成上必要と認めた事業

日本損害保険協会の取組み

損保協会では、発達段階に応じた身の回りのリスクや防災に関して身に付けて欲しい知識・能力を3段階に分け、年齢層別に以下のとおり、講演の実施（オンラインでの講演も実施）や資料・動画教材等を用意しています。

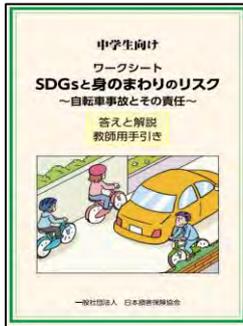


教材の提供、講師派遣について

教材

中学生

リスク教育副教材 (中学生向け)



高校生

明るい未来へTRY! ~リスクと備え~



<動画教材>



大学生・一般消費者

そんぽのホント



講師派遣

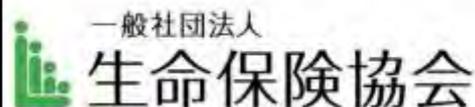
直近5年間(2020年度から2024年度まで)の延べ実績累計

対象	講演回数(回)	聴講者数(人)
高校生	320	95,251
大学生	1,078	121,592
その他	450	26,221
計	1,848	243,064



保険教育に関する包括連携協定の締結について

一般社団法人生命保険協会、一般社団法人日本損害保険協会、および公益財団法人生命保険文化センターは、「保険教育に関する包括連携協定」を締結しました。



1. 本協定の目的

本協定は、一般社団法人生命保険協会、一般社団法人日本損害保険協会、および公益財団法人生命保険文化センターが、ライフプラン等を踏まえたリスクに対する自助努力の重要性を学ぶための保険教育について、密接に相互連携および協働して取り組むことを定めたものです。これにより、国民の皆さまの保険分野における金融リテラシー向上を図ることを目的としています。

2. 本協定の内容

上記の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携し協力します。

- (1) 保険教育に係る教材・コンテンツの作成に関すること
- (2) 学校等への講師派遣に関すること
- (3) 学校教育支援に関すること
- (4) 金融経済教育推進機構に関すること
- (5) その他、保険教育、金融経済教育に関すること

※連携・協力事項に係る取組を効果的に推進するため、定期的に情報交換を行い、協働取組に係る研究を行うものとし、具体的な取組内容及び実施方法は、取組ごとに、協議の上決定する

※連携・協力事項を推進するにあたっては、教育機関や金融経済教育推進機構等その他の団体等との連携が図られるよう努める

教員対象セミナーの開催

- ・2006年度より、毎年、生命保険文化センターと日本損害保険協会との共催で、全国の中学校・高等学校の家庭科教員及び社会科・公民科教員を対象に、「くらしとリスク管理」をテーマとした教員対象セミナーを開催。**2025年度で20年目**を迎える。
- ・会場参加に加え、リアルタイムの**オンラインによる参加も可**。
- ・夏季だけでなく、**2024年度からは冬季にも開催**。

累計約2,200名の教員が参加
(2006年度から2024年度までの延べ実績)

(参考)2024年度 教員対象セミナー実施風景



大学教員による「基調講演」



高校教員による「授業実践報告」

共催による教員対象勉強会(通年)

民間保険(生命保険・損害保険)に関する授業実践勉強会

- ・両団体から職員を講師として派遣
- ・対象:高校教員向け・全国どこでも派遣可(無償)
 - ※Zoomを使用した双方向によるオンライン実施も可能
- ・実施可能日:月～金 ※祝日・年末年始を除く
- ・実施例 [計90～120分]
 - (1) 総論 [20分]
 - (2) 授業プラン①生命保険 [30～40分] (生命保険文化センター)
 - (3) 授業プラン②損害保険 [30～40分] (日本損害保険協会)



2023.8.1 大分県高等学校教育研究会家庭科部会研修会
における共催による教員対象勉強会

〈実施実績〉

- ・2023年度(2回):8/1大分県高等学校教育研究会家庭部会、10/18兵庫県高等学校教育研究会家庭部会第1学区研究会
- ・2024年度(2回):7/29神奈川県くらし安全防災局くらし安全部消費生活課、12/24滋賀県高等学校等教育研究会家庭科教育研究部会
- ・2025年度(2回):8/18奈良県高等学校家庭科教育研究会、10/14大阪府高等学校家庭科研究会

共同制作による高校生向け副教材

「ソナソナ～備える者たちに幸あれ～」

病気・ケガ、死亡、介護、事故や自然災害など、年代ごとに人生の中で起こりうる様々なリスクを認識し、どのように備え、その備え方にはどのような手段があるのかを知るために、民間保険(生命保険・損害保険)や社会保険を学ぶことができる教材です。



特徴1

カードゲームで楽しく「リスク管理」について学べます!

1グループ2～7名で行うカードゲーム教材となっており、グループワークなどでの使用が可能です。アクティブ・ラーニングに最適です!

特徴2

授業時間にあわせて、2パターンの使用方法をご用意しています!

①約40分のロングVer.、②約25分のショートVer. があり、授業のコマ数や授業時間などに合わせた利用が可能です!

■カードの種類は3種類

【①イベントカード(20代～70代)】



【②安心カード】



【③ボーナスカード】



【共同制作】

公益財団法人 生命保険文化センター

一般社団法人 日本損害保険協会 SONPO
The General Insurance Association of Japan

【監修】

- ・井波 祐二 先生(東京都立豊多摩高等学校)
- ・三野 直子 先生(東京都立竹早高等学校)
- ・宮崎 三喜男 先生(東京都立田園調布高等学校)

※五十音順、ご所属は作成当時(2024年度)の学校となります。

本カードゲームの
詳細はこちら

